

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 2 年度第 3 回白岡市環境審議会
開 催 日	令和 2 年 1 0 月 2 9 日（木）
開 催 時 間	午後 2 時 0 0 分開会 ・ 午後 3 時 3 0 分閉会
開 催 場 所	白岡市役所 4 階 会議室 4 0 3
会 長 の 氏 名	三宅 敏郎
出 席 者 の 氏 名・出席者数	白岡市長 小島 卓 白岡市環境審議会委員 三宅 敏郎、齋藤 俊治、久保木 孝夫、渡邊 昇子、 廣瀬 秀男、弓木 裕一、浅野 悦子、川岡 直美、 福田 慎太郎、青木 伸行 1 1 人
欠 席 者 の 氏 名・欠席者数	なし
説明員氏名	第 2 次白岡市環境基本計画の策定について：中澤主任
事務局職員の 職・氏名	市民生活部 部長 篠塚 淳 環 境 課 課長 大橋 寛枝 環 境 課 主幹 鬼久保 晃一 環 境 課 主査 村岡 信義 環 境 課 主査 吉田 宏 環 境 課 主任 中澤 聡 6 人
そ の 他 会 議 出 席者の職・氏名	サンコーコンサルタント株式会社 課長 二木 友也 1 人
傍 聴 者	1 人
会 議 次 第	1 開 会 2 市長あいさつ 3 議 事 第 2 次白岡市環境基本計画の策定について 4 そ の 他 5 閉 会

配 布 資 料	・ 会 議 次 第 ・ 資 料 1 第 2 次 白 岡 市 環 境 基 本 計 画 （ 案 ） ・ 参 考 資 料 白 岡 町 の 環 境 を 考 え る 会 の 様 子
---------	---

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
大橋課長	1 開 会 会議を開会。
小島市長	2 あいさつ 小島市長からあいさつ。
大橋課長	3 議 題 議事進行については、白岡市環境基本条例第31条第1項に基づき、会長に依頼する。
会長	第2次白岡市環境基本計画の策定について これより議長の職を務める。 議題の第2次白岡市環境基本計画の策定について、事務局から説明を求める。
中澤主任	資料1に基づき、第2次白岡市環境基本計画の策定について説明を行った。
会長	説明内容に対して質問等はあるか。
A委員	前回の資料の16ページに耕作放棄地の解消について記載があったが、今回の案では削除されている。耕作ができる土地であればよいが、耕作がまったくできない土地となっており、どうにもできない状態になっている。ムクドリの発生などもあり重要な問題である。
中澤主任	同項目の中で遊休農地の記載もあり統合し、整理した。
A委員	それは現状を理解していないと思われる。遊休農地と耕作放棄地では取り扱いが違うはずだ。遊休農地であれば利用ができるが、白岡市内の耕作放棄地だと利用ができない。ムクドリの問題は難しい。もとの原因

鬼久保主幹	から対応するべきで、それには耕作放棄地を解消することが必要である。
A 委員	遊休農地ではなく、言葉としてインパクトのある耕作放棄地という表現で整理する。 20 ページに低公害車と次世代自動車が掲載されている。低公害車と次世代自動車では定義が違うと思われる。特に燃料自動車は、電気自動車や水素自動車などが入ると思うが、水素や電気ステーションなどのインフラも必要である。 また、電気自動車は自動車自体でCO₂を排出しないが、その電気を作っているところでCO₂が排出される。低公害車だけでも良いのではないかと思う。
B 委員	A 委員の意見のように発電が火力に頼っているため、電気自動車を使うと実はCO₂の排出が増えるという考え方はある。仮に埼玉県全体で電気自動車を使うと現時点ではCO₂の排出量が増えるという試算も聞いている。こういった取り組みは、例えば計画案にも記載があるように太陽光発電の導入などの取り組みと並行してやっていく必要がある。 RE100などの導入もあるが、需要が増えれば供給も増える。現時点ではCO₂の排出が増えるのかもしれないが、将来的な目標として計画案に示された低公害車と次世代自動車の併記による記載方法で問題ないと思う。中国などではガソリン車は全廃する方向になっている。次世代自動車と書くことでインパクトが出る。
鬼久保主幹 B 委員	低公害車と次世代自動車の定義については、資料編に掲載予定の用語集で記載する。その他の言葉についても用語集でわかりやすいように示したい。 全体的な感想だが、今回の計画案では前回の環境審

C 委員	議会の意見が反映されており、ブラッシュアップもされているので、私としては特に指摘事項はない。 どうしても内容的に難しい書き方になってしまっている。中学生が理解できるぐらいの内容で作ってみてはどうか。今回はできなくとも次回の策定でも良い。もっと身近な事例による書き方であるべきだと思う。 例えば温暖化の影響でデング熱の記載があるが、これではわからないのではないか。ヤブ蚊は1960年代までは東京までにしかいなかったが、今では津軽海峡を渡ろうとしている。そういった身近なもので記載するべきではないか。危機感というのをほとんどの人は持っていない。 また、車を使わないという方向ではなく、車を使いながらどのように削減するかということだと思う。こういった地球環境の問題になると人間の行動自体の生活レベルを下げなければならないという議論になる。 地球人口がわずか70年の間に75億人に増えている。地球では賄いきれない人口になっている。我々人間は地球に生かされているという意識が必要だ。 住んでいる町内会ではこの地域では車が必要。でもそういう人ばかりではない。しかし、車がなくてもよいという人もいる。昔は車もなかったし、 unnecessary 買いだめもしないとなると車はなくてもよいとなる。そういった意味で、人間のレベルを後退させるということも不可能ではないと思っている。生活を見直そうという視点が必要だと思う。
A 委員	35ページの市民の取り組みで公共交通機関の利用について記載がある。この公共交通機関は何を想定しているか。市民が選択できる公共交通機関と思うが。
中澤主任	電車や市内のバスを想定している。

A 委員	白岡にバスは走っているのか。バスは白岡駅から通っている 1 本だけではないか。市の取り組みであれば公共交通機関を増やすという意味になると思うが、市民が選択する公共交通機関となった場合、大山などで高齢者はこういった公共交通機関を使えばよいのかという話になる。
中澤主任	白岡市内では駅から走っているバスと、大山地区には蓮田駅へ向かうバスもある。 公共交通機関には市内だけではなく、どこか遠くに出かける際には、自家用車ではなく市外のバスや電車を使うという意味もある。
会長	公共交通機関を利用するという記載は問題ないということか。
鬼久保主幹	白岡駅の東側でこういった公共交通機関を使うのかという議論はあると思う。しかし、今策定している環境基本計画では、あくまで環境負荷を減らすためにどのような行動をするべきかという観点で記載しているのでご理解頂きたい。
会長	先ほどの C 委員のわかりやすい計画という点で事務局で何かあるか。
中澤主任	今回の計画では 3 パターンの印刷を考えている。本編と概要版と学校版である。小中学生向けの学校版で若年層にもわかりやすい形で示したい。
A 委員	3 つのパターンで作成されることはとても良いことだと思う。本編についてはどういう方に配布するのか。自分は区長をやっているが、環境審議会委員になってはじめてこういったものを見た。せっかくみんなで議論して作ったものだが、区長が知らないというのはどうかと思う。
中澤主任	配付するのは審議会委員と市議会議員だが、市民に

	はホームページの掲載でお知らせする形になる。もちろん、希望があれば市民に直接お渡しするつもりである。
A 委員	少なくとも行政区長には配付してほしい。
鬼久保主幹	行政区長会で配布することで調整する。
B 委員	企業にもぜひ閲覧できるようにしていただきたい。
C 委員	計画ができたというのは市民にどう報告するのか。これまでもそういった報告はしているのか。
中澤主任	広報しらおか、ホームページで報告する。広報しらおかでは数ページを使って概要を掲載する。これまでも計画の内容も含めてホームページに掲載している。
C 委員	前回も意見したが、こういった資料では元号を使うのではなく、西暦にした方がよいと考える。元号だと時間の流れがわかりにくい。入れるのであれば、西暦を先に入れて、後ろに元号を入れた方がよい。
会長	私も西暦の方が良いのではと考えるが、行政側の事情で元号を入れなければならないなどあるのか。
B 委員	自分の意見は違って、元号を示すべきと思う。元号を否定するのはわが国の歴史を否定することになるのではないか。
D 委員	私は元号の表記は必要であると考え。例えば、処方箋の生年月日は元号表記が多いのだが、西暦で書いていると、昭和や平成で何年に当たるのかわからないことがよくある。
中澤主任	今回の計画で元号と西暦を併記した理由は、表や図については出典元の表記をそのまま載せているところにある。出典元の表記が元号であったり、西暦であったりと色々あるので、本文と比較しやすいように併記する形とした。
D 委員	デング熱の記載がいないのではないという意見があ

	ったが、この点が温暖化で一番怖いと考えている。東南アジアで多かった病気が媒介する蚊などで日本に入ってくる。 計画案の記載は、我々にとっては必要な考え方だと思う。自分にとっては一番身近な話である。
C 委員	温暖化が進んでいるのは事実で、感染症の拡大も事実であるが、もっと身近でわかりやすいものを入れた方が良いという意見である。
B 委員	デング熱は何年か前に、日本でも代々木公園で発生している。温暖化の影響による感染症拡大事例としては、一番わかりやすい代表的な事象だと思う。
鬼久保主幹	デング熱というのは一番有名な感染症だと思うが、意見のとおり分からない人もいると思うので、デング熱を入れた上で、蚊が媒介するデング熱というような表現を考えたい。
D 委員	蚊といってもどういう種類の蚊という話になる。どういう蚊の種類が日本にいと困るという話までになるが。
中澤主任	用語集でどういった蚊からどのような感染症が発生するということを記載する。
E 委員	各委員からいろんな意見がある中で、事務局で検討していただいて、より良い計画にしていいただければよいと思うので、自分は本計画案については賛成したいと思う。
会長	これからの精査も含めてであるが、みなさんが賛成していただけるというのであれば、この審議会では了承したということにするが。
A 委員	今日の意見による修正については、委員に報告がもらえるのか。
鬼久保主幹	本日いただいた意見を基に素案を修正し、修正した

会長 委員一同 会長	素案については後日、各委員に配布させていただく。 また、前回の会議でもお伝えしたところではあるが、11月17日からパブリックコメントを実施予定である。パブリックコメントで寄せられた意見に対しての市の見解については、1月に開催する次回会議で報告させていただく予定である。 その他質問等はあるか。 なし。 議事が全て終了したため、議長の職をおりる。
大橋課長 村岡主査 大橋課長 A委員	4 その他 その他に関して、事務局から連絡がある。 第4回白岡市環境審議会の開催日時について連絡。 各委員から何かあるか。 第1回の環境審議会は書面で意見があった。こういう意見があったという添付だけであったが、意見に対して、市の見解を提示してほしい。環境審議会だけではなく、他の委員会でも同様で、いつも意見添付だけだが、市の見解がほしいと思っている。もちろん沢山の意見があるので、個別に全てとは言わないが、総括的にでもお願いしたい。
鬼久保主幹 大橋課長 委員一同	総括的に抽出して、見解を示すような形で検討、調整したい。 他に各委員から何かあるか。 なし。
大橋課長	5 閉 会 会議を閉じる。 以 上